



パート 36

ふれあい支えあう町 誓う

～ ひかり福祉のつどいに 400人参加 ～



▲優秀作文の
発表をする島田英和君

式典では、鈴木社会福祉協議会長が、「地域ぐるみの福祉推進へ、ともに語らい、活動の充実を図ろう」と呼びかけました。その後福寿会の食事サービスをしているボランティアグループ「あじさい」のほか12人

に表彰状が、4人の個人と4団体に感謝状が贈られました。ひき続いて、東陽小4年島田英和君が「がんばったおばあさん」と題して、日吉小6年花澤知代さんが、「私の宝物は家族の幸せ」

ふれあい・支えあう・町づくりを目指す「第7回ひかり福祉のつどい」が、1月27日町民会館で開かれました。400人の方々の参加のもと、福祉功労者、福祉のまちづくり標語・作文・ポスターの入選者の表彰やライフカウンセラーによる講演などが行われました。

また、ロビーでは八日市場養護学校の生徒の手作り作品が展示、販売されました。



▶ライフカウンセラー
田原米子さんの講演

と題してそれぞれ家族のふれあいをつづった作文の発表を行いました。つどい宣言に続いて、光町中央保育園児による遊戯「つるのおんがえし」、ライフカウンセラー田原米子先生による講演「生きるってすばらしい」が行われました。田原先生は、16才の時母親が急逝してから孤独と不安の中、無軌道な生活を送り、高校生の時鉄道自殺を図って左手と両足を失ったが、障害を克服して活躍をしています。

「人間って自分で生きてるように思っているかも知れないけれどそうじゃない。生かされているんです。それは実にありがたい事。だから精一杯ご自分の役に立つことをしなくちゃうそだと思えます」と話され、この言葉に深く感動して、涙を拭く姿も見られました。最後に行われたお楽しみ抽選会では、豪華な賞品に一層盛り上がり 있었습니다。

社会福祉功労者

▽あじさい（ボランティアグループ）▽林田重俊（橋場）▽越川毅（二又）▽土屋和子（宝米）▽越川美津枝（二又）▽布施フミ子（傍示戸）▽斎藤記子（傍示戸）▽向後計子（作間内）▽加瀬タツ子（橋場）▽海保章子（長塚）▽小作広子・佐野博久（光楽園老人ホーム）

社会福祉協議会長感謝状

▽若林洋代（宮内）▽牧野一郎（白磯）▽田口恕（長塚）▽関川忠司（篠本2区）▽ルアナ・フラクラブ▽志仁会▽商工会青年部▽町有段者連盟

（敬称略）



☆「ふれあい生活展」の開催 ☆

日時 3月6日(木)～10日(日)まで 午前10時～午後5時まで
場所 八日市場市民ふれあいセンター
内容 骨強度・体位脂肪等の測定や介護機器の展示・紹介など
費用 無料
問合せ 財千葉県長寿ふれあいセンター事業課
☎043-244-7159

☆ シルバー法律相談 ☆

対象者 相続・訴訟関係など法律のことでお困りの高齢者の方（家族の方でも結構です）
日時 3月13日(木) 午後1時～午後3時まで
場所 町民会館会議室B
費用 無料
問合せ 住民福祉課福祉係 ☎043-1211 内線156